

1. 本県周辺海域の概況(図1, 1/10現在)

- ・黒潮の流型は、蛇行したC型で推移しています。黒潮本流は犬吠埼にやや接岸した状態で、本県沖合を北東～東北東に流去しています。本県沿岸海域では表層を中心に暖水が波及しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯41° 30′ 東経144° 付近(襟裳岬沖)にあります。親潮の面積は平年並で推移しています。仙台湾～常磐南部海域の沖合では、冷水(表面水温10～11℃)の南下がみられています。
- ・三陸沖合の北緯39° 30′ 東経143° 30′ 付近に暖水塊が形成されています。

2. 海洋観測結果(1/7～8:調査船「いばらき丸」)

- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また, 各定線の鉛直水温図を図10～13に, 会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14～17に示しました。海面水温は, 会瀬沖で11.6～15.7℃, 大洗沖で10.4～16.9℃, 鹿島沖で13.6～19.3℃, 犬吠埼沖で15.8～19.8℃でした(図2)。
- ・前月と比べると, 気温の低下等の影響もあり, ほぼ全域で降温しました。また, 北方からの冷水の南下に伴い, 大洗・会瀬定線の沖合(東経141° 30′ 以東)では, 表層・下層とも大きく降温 (-7～-3℃) しました。(図6～7, 図14～15)。
- ・平年と比べると, 表層は暖水波及の影響により「平年並～高め」の海域が広がっていますが, 下層は東経141° 30′ 以西で「平年並」, 東経141° 30′ 以東の北部で「低め基調」, 南部で「高め基調」となりました(図8～9, 図16～17)。
- ・潮流の特徴として, 犬吠埼沖合(東経141° 30′ 以東)と鹿島沖合(東経142° 付近)では黒潮本流の北東への強い流れ(2.0～3.6ノット)が観測されました。また, 鹿島沖合(東経141° 15′ ～30′ 付近)では1ノット以上ある込潮(西向きの流れ)が, 会瀬・大洗沖合(東経141° 45′ 以東)では1ノット以上ある逆潮(南向きの流れ)が観測されました。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮流型は蛇行したC型で推移するでしょう。また, 黒潮流路は本県沖を北東に流去する状態がしばらく続くでしょう。
- ・親潮の面積は平年並で推移するとみられますが, 親潮第一分枝の先端は北緯40° 30′ 東経142° 30′ 付近(青森県沖八戸沖)に南下するとみられます。仙台湾～常磐南部海域に存在する冷水の影響はしばらく続くでしょう。
- ・水温を平年と比べると, 本県海域の広い範囲で冷水が影響するため「低め～平年並」で推移するでしょう。

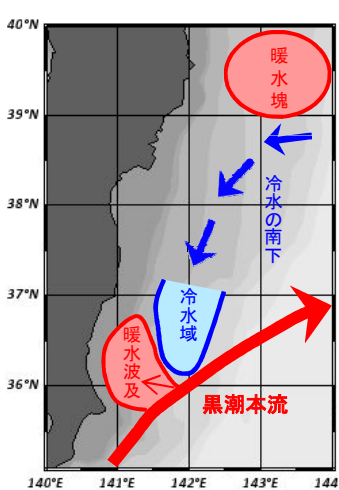


図1 海況の概要 (1月10日現在)

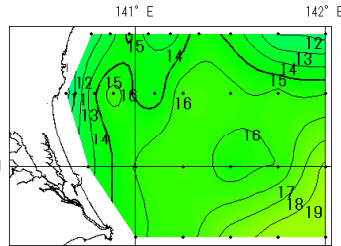


図2 海面水温(°C)

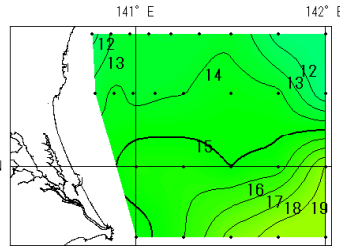


図3 50m深水温(°C)

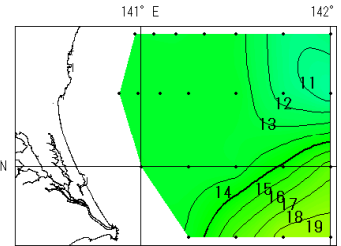


図4 100m深水温(°C)

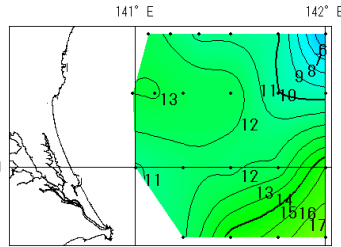


図5 200m深水温(°C)

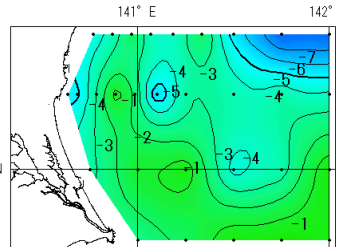


図6 海面水温前月差(°C)

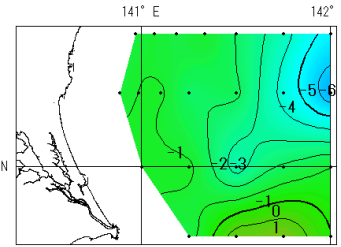


図7 100m深水温前月差(°C)

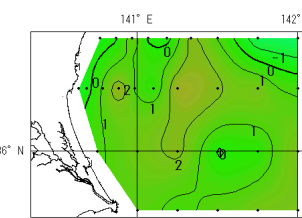


図8 海面水温偏差(°C)

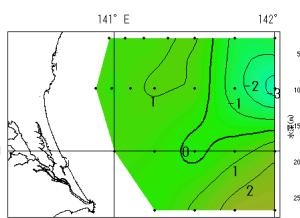


図9 100m深水温偏差(°C)

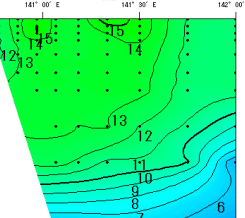


図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

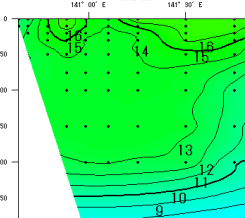


図11 大洗沖鉛直水温(°C)

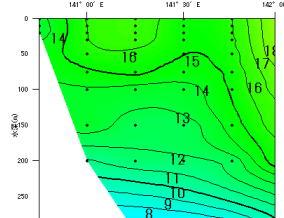


図12 鹿島沖鉛直水温(°C)

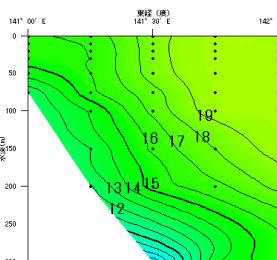


図13 犬吠埼沖鉛直水温(°C)

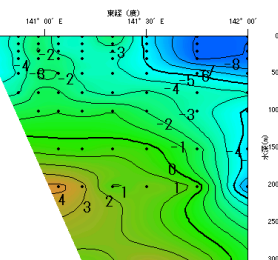


図14 会瀬沖鉛直水温前月差(°C)

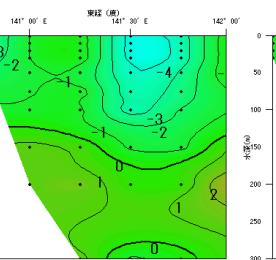


図15 鹿島沖鉛直水温前月差(°C)

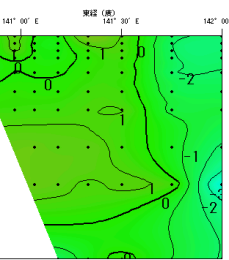


図16 会瀬沖鉛直水温偏差(°C)

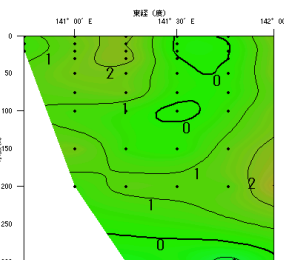


図17 鹿島沖鉛直水温偏差(°C)